

## 癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 CD20陽性の濾胞性リンパ腫  
レジメン名 NHL12 G-CHOP(1コース目)

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
ガザイバ	オビヌツズマブ	-	1000mg/body	div	DAY1,8,15	下記参照	21-28日間
エンドキサン	シクロホスファミド	CPA	750mg/m <sup>2</sup>	div	DAY1	1.5時間	
ドキシソルピシン	塩酸ドキシソルピシン	ADR	50mg/m <sup>2</sup>	div	DAY1	15分	
オンコピン	ビンクリスチン	VCR	1.4mg/m <sup>2</sup> (MAX2mg/body)	div	DAY1	15分	
プレドニン	プレドニゾロン	PSL	100mg/body	po	DAY1-5	-	

G-CHOP

### 1コース目【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール600mg内服
- ② NS 210ml + ガザイバ mg /26ml/hrから開始  
投与速度: 30分毎に 13ml ずつ上げる(13ml/hr→26ml/hr → 39ml/hr→ 52ml/hr→ 65ml/hr→ 78ml/hr→ 91ml/hr→ 100ml/hr)
- ③ NS 50ml / 全開
- ④ NS 50ml + グラニセトロン 1A / 15分
- ⑤ NS 50ml + ドキシソルピシン mg / 15分
- ⑥ NS 50ml + オンコピン mg / 15分
- ⑦ NS 250ml + エンドキサン mg / 1.5時間
- ⑧ NS 50ml / 全開

### 1コース目【DAY 8,15】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール500mg内服
- ② NS 210ml + ガザイバ mg /25ml/hrから開始  
投与速度: 30分毎に 25ml ずつ上げる(25ml/hr →50ml/hr → 75ml/hr → 100ml/hr)
- ③ NS 50ml / 全開

### 〈 調整方法 〉

ガザイバは最終液量250mlとする。

### 〈 備考 〉

- ① 投与速度は 初回は13ml/hr から開始し、30分毎に 13ml ずつ速度を上げる。最大 100ml/hr
- ② 2回目以降は 25ml/hr から開始し、30分毎に 25ml ずつ速度を上げる。最大 100ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 治療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ ガザイバは投与時にフィルター(0.2μmのインラインフィルター:テルモ)使用。
- ⑥ ドキシソルピシン: 累積投与量依存的に心筋障害の発生頻度上昇。総投与量500mg/m<sup>2</sup>。
- ⑦ ドキシソルピシン: 壊死性抗がん剤であるため、血管外漏出に注意。

H30.9.25作成